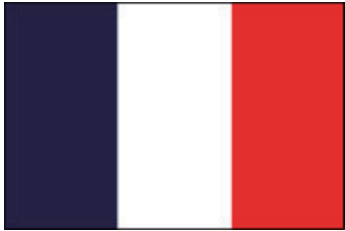


フランス共和国			首都	パリ
 <p>フランス革命のとき、革命軍の帽章の色からつくられ、青・白・赤の3色旗は自由・平等・博愛を表している。</p> <p>独立：843 フランク王国 国連加盟：1945/10/24 政体：共和制</p>		国 の 概 要	国土	面積 55万2,000 km ² (日本の約1.5倍) ヨーロッパ大陸の西部を占める大西洋と地中海に挟まれたほぼ六角形の本土とコルシカ島、5つの海外県(グアドループ・マルチニク・ギアナ・レユニオン・サンピエールミクロン)、およびいくつかの海外領土からなっている。全土の64%は平地かなだらかな丘陵地である。スイス、イタリア国境にはアルプス山脈とジュラ山脈、スペインとの国境にはピレネー山脈が走る。中央部は北からパリ盆地、アキテーヌ盆地、中央山塊となっている。水量豊富な河川が多く、セーヌ川はドーバー海峡、ロアールとガロンヌ川は大西洋、ローヌ川は地中海に注いでいる。
			人口	6,340万人
			言語	フランス語(公用語)
			通貨	ユーロ
			気候	全般に温和な温帯気候で、北部と西部は西岸海洋性で気温の年較差が小さく雨量も多い。中部と東部は大陸性の影響で冬は冷え込む。南部は地中海性で夏は高温乾燥、冬も温暖であるが、ときおりミストラルと呼ばれる冷たい風が吹く。
			教育制度の概要	<p>学校体系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初等教育(小学校)5年、前期中等教育(中学校)4年、後期中等教育(高校、専門学校、技術学校)3年、大学(学士号)3年である。 <p>義務教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年(6歳)から中学4年(16歳)までの9年間の義務教育である。 ・その年の12月31日までに満6歳になる者は、その年の9月1日に義務教育の第1学年に入学する。 <p>日本と比較した教育課程上の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校年度は9月1日より翌年の8月31日となっており、3学期制を採っている。1学期は9月～12月、2学期は1月～3月、3学期は4月～6月となっている。 ・土曜・日曜が休みで、水曜又は木曜が半日である。 ・近年2年生から外国語が必修となった。 ・書くことを伴う宿題は法律で禁じられている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動はない。
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・高校 3 年修了時に大学入学資格試験(バカロレア)が実施される。 ・なお、高等教育機関としては、大学のほかにグランゼコール、高等専門学校などがある。 ・前期中等教育を終了しコレージを卒業した生徒は、希望によってリセと呼ばれる国立の学校(高校)で引き続き無償の教育を受けることができる(後期中等教育課程)。リセには進学を目的にしたものと職業的専門知識を習得することを目的としたものがあり、第 2 学年、第 1 学年、テルミナルという順で進級する。 ・大学などの高等教育機関に進むにはバカロレアを受験し、合格することが条件となる。
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・エコール・マテルネルと呼ばれる機関があり、義務化はされていないが、9 割以上の幼児が 2 年または 3 年の幼児教育を受ける。費用は公立の場合無料である。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文部科学省に相当する機関として、青少年・国民教育・研究省が設置されているが、教育行政のみを扱う場合は通常「国民教育省」と呼ばれている。フランス全土は、その国民教育省を頂点に 28 の学区に分割されており、それぞれの学区には国民教育大臣が任命した学区長が配置され、同学区長が当該学区の小・中・高・大学を管轄している。 ・外国人の移住者が多い地域では、外国人のための適応学級があり、フランス語を集中的に学習することができる。
学 校 生 活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み等休暇は地域によって異なる。
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の進度の度合いによって飛び級や留年もあり得る。
	学校行事の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会・学芸会はない。
	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・給食を食べさせるか、弁当持参にするかは保護者に一任されているが、給食を選択するが多い。 ・給食費は、国から援助があり、所得によって支払う額が違うが、満額払ってもそれほどの負担にはならない。 ・メニューは前菜、メインディッシュ、パンやパスタの穀類、デザート、飲み物等、フランス料理のフルコースである給食時間も 1 時間半から 2 時間となっている。
	チャイムや号令	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼はない。

	保護者の授業参観、保護者会、PTA	・授業参観はあまりない。
	子どもの一日	・放課後や休日には、多くの生徒がスポーツや音楽鑑賞、インターネット等をして過ごすほか、休日には映画鑑賞や旅行に出かける生徒もいる。
	その他	・公立小学校・中学校は教科書、文房具などはすべて無料で、毎年、文房具やランドセルを買うための費用が国から支給される。
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	・日本語の学習では、「八行」の子音が脱落してしまうことがある。
	その他	・日本に対しては、「独自の伝統文化を有する一方、先進的な技術を持っている国」と印象を持ち、日本のアニメや情報技術に対する関心が強い。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・かわさき教育だより 社会科見学「世界の給食」・・・・・・・・川崎市教育委員会
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・・・・・・・・・井上恵子